

2021年度 港北区で行われる主な事業

●問合せ 企画調整係 ☎ 540-2229 ㊟ 540-2209

まちづくり

新横浜都心のまちづくり 継続 地図 ①

新横浜都心では、新たな鉄道や高速道路の開業等により交通基盤が強化され、大きな変化の時期を迎えています。今年度は、横浜の玄関口として花緑あふれるエリアを維持しつつ、新横浜都心の現状等を整理し、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえた上で、新横浜都心が横浜の都市活力をけん引するエリアとして発展していくためのまちづくりの方向性を検討します。

新横浜駅南部地区では、駅前の約3.5ヘクタールを対象に再開発準備組合が設立され、再開発の実現に向けて取り組んでいます。

今年度も引き続き、再開発準備組合を支援し、再開発に併せて整備される都市基盤の検討を進めます。

綱島駅東口周辺のまちづくり 継続 地図 ②

相鉄・東急直通線の新駅(新綱島駅*)の開業に併せて、まちづくりを進めています。今年度は、新綱島駅周辺で区民文化センターや商業施設、都市型住宅等からなる再開発ビルの建築工事を引き続き進めるとともに、綱島街道等の道路拡幅工事等を進めます。綱島駅東口駅前地区でも市街地再開発事業を推進するため、都市計画決定手続を進めます。

日吉駅西口周辺のまちづくり検討 継続 地図 ③

日吉駅西口周辺では、歩行者が安全に通行できる歩行空間の確保等に向けたまちづくりを進めています。今年度は、地域と意見交換を行いながら、引き続き歩行空間確保の手法検討や実現化に向けた社会実験等の実施検討を進めます。

公園・みどり

公園の整備 継続 新規 地図 ④

新羽丘陵公園の拡張に向けて、引き続き整備を進めます。今年度からは、新田緑道・下田町西公園・菊名町第二公園・太尾堤緑道の再整備を行います。



新田緑道

鉄道・道路・橋

相鉄・東急直通線の整備(神奈川東部方面線) 継続 地図 ⑤

相鉄・東急直通線は、2022年度下期の開業に向けて整備を進めています。今年度は、引き続き新綱島駅*と日吉方面を結ぶトンネル掘削等を進めるとともに、躯体構築工事のほか、線路敷設や電気設備工事等を進めます。市営地下鉄ブルーライン新横浜駅では、相鉄・東急直通線と接続する部分の改良等や新改札の整備を進めます。

横浜北線関連工事 継続 地図 ⑥

横浜北線の馬場出入口(鶴見区)は、2020年10月21日に内路交差点側の入口を開通し、4か所ある全ての出入口が利用できるようになりました。今年度は、大田神奈川線に接続する取付道路の整備等を行います。



道路の改良 継続 新規 地図 ⑦

通学路における歩行空間の確保等の交通安全対策や、市民生活やバス交通の利便性の向上を図るため、交差点等の道路の改良を実施します。今年度は、菊名4丁目交差点、市道下田第97号線、市道東本郷第128号線の工事を進めます。



菊名4丁目交差点

橋・歩道橋の地震及び老朽化対策 継続 地図 ⑧

倒壊や甚大な被害を防止する対策を進めています。今年度は、新横浜陸橋の耐震補強工事を引き続き進めるとともに、新横浜駅北口歩道橋の老朽化対策に取り組んでいきます。



新横浜陸橋

綱島街道の拡幅整備 継続 地図 ⑨

綱島駅交差点付近から北綱島交差点について、事業に着手しています。今年度は、引き続き境界確認や詳細設計のほか、無電柱化のための関係機関協議を進め、一部取付道路の改良工事を実施します。

市営地下鉄グリーンライン6両化 新規 地図 ⑩

新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では利用者が大幅に減少していますが、乗車人員の回復に備えるとともに、沿線のまちづくりの観点からも、引き続き6両編成化を進めます。今年度も、駅ホームの延伸工事や車両基地の改良工事等を進め、年度末には駅ホーム及び車両基地の6両化対応が完了します。2022年夏頃から、順次6両化車両を導入する予定です。



*駅名称は、都都市鉄道等利便増進法に基づく手続後正式に決定します



福祉・防災等

第4期港北区地域福祉保健計画(ひっとプラン港北)の策定 継続

身近な福祉保健課題の解決に向けて、「港北区地域福祉保健計画(ひっとプラン港北)」の第4期計画(2021～2025年度)を策定します。区計画の推進と13地区ごとに策定した地区計画の推進を支援します。

小学校の増築・建替 継続 新規 地図 ⑪

師岡小学校は、児童数の増加に対応するため校舎の増築工事を進めています。今年度も引き続き建築工事を進めます。2020年度に建替対象校として菊名小学校が選定されたので、今年度は基本設計等を進めます。

区民利用施設の環境改善・機能強化 継続 新規

区庁舎・区民利用施設では、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、引き続き安全・安心な施設サービスを提供します。港北スポーツセンターでは、第1・第2体育室へ空調設備を設置します。区庁舎関連では、新たに設置した「港北区役所マイナンバーカード新横浜臨時窓口」の利用促進を図り、繁忙期窓口サービスの改善等、区民サービスの向上に取り組みます。

避難所等における感染症対策 新規

新型コロナウイルス感染症対策や避難所生活の改善を図るため、避難所等にパーテーションや資機材を整備します。また、在宅避難啓発チラシを作成し、自宅等で安全が確保できる場合は在宅避難に努めてもらうよう、区民の皆さんに周知していきます。

図書活動の充実 新規

図書取次サービス事業拡充のため、区北部の日吉駅周辺に新規拠点を開設します。今年度は、導入・整備に向けて関係機関と調整を進めます。



子育て支援の充実 新規

コロナ禍でも、地域での子育て支援事業の継続実施や区民の皆さんが安心して支援の場への参加ができるように、感染症対策の強化とオンライン等の新たな手法の活用普及を図ります。児童虐待防止の取組として、区役所こども家庭支援課に「こども家庭総合支援拠点」機能を整備し、要保護児童等への支援や、子どもや家庭からの相談への対応を充実させます。

多機能型拠点の整備 新規 地図 ⑫

医療的ケアを必要とする重症心身障害児者等とその家族の地域での暮らしを支援するための施設である多機能型拠点を、菊名4丁目の市医師会看護専門学校の跡地に整備します。2024年度の開所を目指し、今年度は設計を進めます。

市営さかえ住宅の建替え整備 新規

「横浜市市営住宅の再生に関する基本的な考え方(2018年4月策定)」に基づき、建替えを行います。今年度は、建替えに向けて設計を進めます。

ふるさと港北ふれあいまつり 新規

ふるさと意識の醸成を図るため、子どもから高齢者・障害者・外国人といった多くの区民が一堂に会する場である「ふるさと港北ふれあいまつり」を11月に横浜アリーナで開催します。コロナ禍においても、感染症対策を踏まえつつ、ICTを活用する等、多くの区民の皆さんに楽しんでもらえるよう、実施方法を拡充します。

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組 新規

東京2020オリンピック・パラリンピック等を契機に、区の魅力向上と区民の皆さんのふるさと意識の醸成を図ることを目的とし、地域連携の促進及び大会開催後のレガシーの定着に向けた取組を、地域や関係機関と連携して実施します。

自治会町内会・商店街への活動支援 新規

コロナ禍の「新しい生活様式」に向けて、自治会町内会活動のICT化を推進するため、機器の設定等を実践的に支援します。商店街及び店舗の魅力に触れながら、区内の商店街を巡るモバイルスタンプラリーイベント「こうほくの商店街ちよいより散歩」を区商店街連合会と連携して開催します。



ちよいより散歩 スタンプラリー